

総合診療医学

担当講座	総合診療医学講座			問合せ先	総合診療医学講座		
分野責任者	下沖 取 教授			連絡先	医局 内線6304		
担当教員	下沖 取 教授	大間々 真一 准教授	高橋 智弘 講師	米田 真也 講師	田鎖 愛理 講師		
	山田 哲也 助教	菊地 大輝 非常勤講師	遠藤 秀彦 非常勤講師	加藤 博孝 非常勤講師	伊藤 達朗 非常勤講師		
	高橋 宗康 非常勤講師	坪井 潤一 非常勤講師	井上 和男 非常勤講師				
人材育成の 基本理念	疾患、臓器、年齢、性別に拘わらずに全身を全人的に診る知識と技能を有し、総合診療医学の発展に寄与できる研究能力を備えた臨床医を育成する						
主な研究内容	総合診療・地域医療に関わる疫学的・臨床的研究を行う。						
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー
	①総合病院から診療所で総合的・全人的診療に関わり、地域包括ケアシステムの中で活躍できるようになる。 ②疫学的・臨床的研究を行う基本的能力を身につけ、自ら研究課題を立案、研究を遂行し、課題を解決できるようになる。						1、2、3、4、5、6、7、8
到達目標	到達目標			対象科目			
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。			ベーシックセミナー			
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。			研究方法論、特別研究、生命科学解析手法概論			
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。			特別研究ⅠⅡⅢ			
	(4)解析結果をまとめ、発表できる（英文が望ましい）。			特別研究ⅠⅡⅢ			
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。			特別研究ⅠⅡⅢ			
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。			特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー			
	(7)総合診療の概念を理解し、実践のための知識・技術を説明できる			地域総合診療医学基礎修練1・2・3・4、総合診療医学セミナー1、地域医療学セミナー2			
	(8)地域医療実践のために必要な知識・技術・地域連携について説明できる			地域総合診療医学基礎修練1・2・3・4、地域医療学セミナー1・2			
	(9)患者を身体心理社会的モデルとして捉え、全人的診療を実践できる			地域総合診療医学基礎修練1・2・3・4、総合診療医学セミナー1・2、地域医療学セミナー1・2			
	(10)総合診療に関する科学論文を正しく解釈し、課題抽出と研究立案ができる			地域総合診療医学基礎修練1・2・4、総合診療医学セミナー1・2、地域医療学セミナー1			
(11)地域医療に関する論文や各種資料を解釈し、課題解決の方策や研究が立案できる			総合診療医学セミナー1・2、地域医療学セミナー1				
資格取得等	総合診療専門医、日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医、同認定医の取得に必要な学識と技能を修得できる						
履修に関する 情報	社会人大学院生や急患対応など、授業に出席できない場合、日程を調整する。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。感染症蔓延や気候・災害等の場合、講義についてはリモート受講も可能とする。						

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特論	1～4年	演習 地域総合診療医学基礎修練1	通年	30コマ	4	20単位	※20単位以上の取得可
		演習 地域総合診療医学基礎修練2	通年	30コマ	4		
		講義・演習 地域総合診療医学基礎修練3	通年	30コマ	4		
		講義・演習 地域総合診療医学基礎修練4	通年	30コマ	4		
		演習 総合診療医学セミナー1	通年	15コマ	2		
		講義 地域医療学セミナー1	通年	8コマ	1		
		演習 総合診療医学セミナー2	通年	15コマ	2		
		講義 地域医療学セミナー2	通年	8コマ	1		
特別 研究	2年	特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

総合診療医学

コード	MD14241010					MD14241020					MD14241030					MD14241040				
科目	地域総合診療医学基礎修練 1					地域総合診療医学基礎修練 2					地域総合診療医学基礎修練 3					地域総合診療医学基礎修練 4				
科目責任者	下沖収					大間々真一					下沖収					下沖収				
担当者	下沖収、大間々真一、高橋智弘、米田真也、山田哲也					大間々真一、米田真也、田鎖愛理、山田哲也、菊地大輝、井上和男					下沖収、坪井潤一、遠藤秀彦、加藤博孝、伊藤達朗					下沖収、大間々真一、高橋智弘、遠藤秀彦、伊藤達朗				
会場	矢巾キャンパス (内丸キャンパス)					矢巾キャンパス (内丸キャンパス)					矢巾キャンパス (内丸キャンパス)					矢巾キャンパス (内丸キャンパス)				
区分等	区分	演習	単位	4		区分	演習	単位	4		区分	講義・演習	単位	4		区分	講義・演習	単位	4	
	回数	通年30コマ	配当年次	I~4		回数	通年30コマ	配当年次	I~4		回数	通年30コマ	配当年次	I~4		回数	通年30コマ	配当年次	I~4	
主な授業内容	人間中心のケア。					包括的統合アプローチと総合診療医の担う健康問題。					連携重視のマネジメントと地域志向アプローチについての知識を修得する。					公益に資する職業規範と総合診療マインド。				
教育成果	外来症例や入院症例のNBMに基づく情報収集や振り返りを通じて、総合診療の根幹をなす人間中心のケアについて、種々のアプローチモデルについて修得する。					さまざまな年齢、性別、環境要因の他、社会的弱者に対するアプローチなどを理解し、診療ガイドラインやEBMを活用しながら臨床推論を進める手法を修得するとともに総合診療医の担う健康問題について修得する。					医療・介護資源と関連する制度について修得し、実際の多職種連携や地域包括ケアについてを地域志向アプローチとともに説明できるようになる。					公益に資する職業規範を学ぶとともに、総合診療医が持つべきマインドが形成される。				
コピー番号/達成度	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A
評価方法	コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8		
	C	C	C			B	B	B			B	B	B			A	A	A		
特記事項	<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>【2021年度以降の入学学生】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書	日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック (改訂3版) 南山堂 地域医療テキスト 医学書院					日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック (改訂4版) 南山堂 地域医療テキスト 医学書院					日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック (改訂5版) 南山堂 地域医療テキスト 医学書院					日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック (改訂6版) 南山堂 地域医療テキスト 医学書院				

コード	MD14241050					MD14241060					MD14241070					MD14241080				
科目	総合診療医学セミナー1					地域医療学セミナー1					総合診療医学セミナー2					地域医療学セミナー2				
科目責任者	大間々真一					下沖収					下沖収					下沖収				
担当者	大間々真一、高橋智弘、米田真也、田鎖愛理、菊地大輝					下沖収、坪井潤一、大間々真一、高橋智弘、田鎖愛理、伊藤達朗					下沖収、大間々真一、高橋智弘、米田真也、田鎖愛理、高橋宗康					下沖収、坪井潤一、遠藤秀彦、加藤博孝、伊藤達朗				
会場	矢巾キャンパス (内丸キャンパス)					矢巾キャンパス (内丸キャンパス)					矢巾キャンパス (内丸キャンパス)					矢巾キャンパス (内丸キャンパス)				
区分等	区分	演習	単位	2		区分	講義	単位	1		区分	演習	単位	2		区分	講義	単位	1	
	回数	通年15コマ	配当年次	I~4		回数	通年8コマ	配当年次	I~4		回数	通年15コマ	配当年次	I~4		回数	通年8コマ	配当年次	I~4	
主な授業内容	総合診療に関わる論文抄読、研究発表手法					地域医療課題の解析と課題解決方策					総合診療に関わる研究を進める手法、研究ステップ					BCPを含む災害時の対応や病院経営マネジメント				
教育成果	総合診療研究に関する論文を渉猟し、研究発表への活用と実際の研究発表ができるようになる。					超高齢社会の到来による日本の医療提供体制の変容、地域医療構想や医療・介護・福祉連携の課題などについての情報収集を行い、課題解決に繋げる方略と研究計画が立案できるようになる。					総合診療や地域医療に関するリサーチエッセイから研究デザイン、研究実施までの具体的なステップを学び、実際の研究に関わる研究成果を参照しながら、自らの研究課題をまとめていく科学的な手法を習得する。					東日本大震災時の対応事例を検証し、BCPならびにリスクマネジメントについて説明できるようになる。また、病院経営に必要な各種マネジメントについて説明できるようになる。				
コピー番号/達成度	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
評価方法	コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8		
	B	B	B			B	B	B			A	A	A			A	A	A		
特記事項	<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>【2021年度以降の入学学生】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書											福原俊一、臨床研究の道標。第2版 上・下巻、東京、NPO法人 健康医療評価研究機構、2017。									

●各科目の授業計画

コード	MD14249010					MD14249020					MD14249030					
科目	特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ					特別研究Ⅲ					
科目責任者	各(正)指導教員					各(正)指導教員					各(正)指導教員					
担当者	各指導教員					各指導教員					各指導教員					
会場	各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					
区分等	区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	2		
	回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年15コマ	配当年次	4		
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備 					<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備 					<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備 					
教育成果	<p>生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><初期審査> 2年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>					<p>生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><中間審査> 3年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>					<p>生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p><論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。</p>					
コピ ティス 番号/達成度	コピ ティス1	コピ ティス2	コピ ティス3	コピ ティス4	コピ ティス5	コピ ティス1	コピ ティス2	コピ ティス3	コピ ティス4	コピ ティス5	コピ ティス1	コピ ティス2	コピ ティス3	コピ ティス4	コピ ティス5	
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	
	コピ ティス6	コピ ティス7	コピ ティス8			コピ ティス6	コピ ティス7	コピ ティス8			コピ ティス6	コピ ティス7	コピ ティス8			
	C	C	C			B	B	B			A	A	A			
特記事項	<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。</p>					<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。</p>					<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。</p>					
評価方法	<p>「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。</p>															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

●時間割

総合診療医学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10					地域医療学セミナー1・2	
5 限	18:00~19:30	特別研究Ⅰ～Ⅲ	地域総合診療医学基礎修練1	地域総合診療医学基礎修練2	総合診療医学セミナー1・2	地域総合診療医学基礎修練3	
6 限	19:40~21:10					地域総合診療医学基礎修練4	
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10					地域医療学セミナー1・2	
5 限	18:00~19:30	特別研究Ⅰ～Ⅲ	地域総合診療医学基礎修練1	地域総合診療医学基礎修練2	総合診療医学セミナー1・2	地域総合診療医学基礎修練3	
6 限	19:40~21:10					地域総合診療医学基礎修練4	

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						